

# 和し 鍛え 学ぶ

3月7日、本日「末野原中学校第40回卒業式」を行いました。40回生の皆さん、皆さんの3年間の「成長の証」が今日の卒業式での言葉や歌、返事などからも本当によく伝わってきました。とても立派な姿で母校を巣立つていった皆さんを誇りに思います。そして、在校生の皆さん。1,2年生が先日の送る会、前日準備、卒業式本番と、先輩たちの卒業をしっかり支えてくれたおかげで「想いの証」が響きあう感動的な卒業式になりました。

来週からは卒業した先輩たちはいません。寂しい気持ちがこみあがけてきます。卒業生の皆さんはこれからも末中の卒業生としての誇りを胸に前に進んでください。そして、在校生の皆さんには、先輩が残していった「証」をさらに大きく育て、ますます素晴らしい末中にしてくれるように願っています。



## 末野原中学校第40回卒業式 「想いの証を」

### 「校長式辞」

「春風の中で  
眩しい光に染まる朝の空 新しい旅が今始まる  
見慣れた街並み 移り行く時を 優しい風がそっと包んでいる

これは、先日の素敵な「卒業生を送る会」で皆さんに贈ってくれた歌です。四十回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
とうとう卒業の日がきましたね。



本日、卒業式の挙行にあたり、豊田市議会議員 窪谷文克様、兵藤慎也様をはじめ、御来賓の皆様に公私ご多用の中御臨席を賜り、高いところからではありますが、深く御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。十五年間、大切に慈しみ、育ててこられたお子様の成長した姿に、喜びもひとしおのことと存じます。この三年間、本校の教育活動に、ひとかたならぬ御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。中学校三年間は、子どもから大人へと変わっていく、いわば「激動の三年間」です。思春期真っただ中の生徒さんは、時に活潑で元気、悩んだり、立ち止まったり、その成長の道のりは、決して直線的ではありませんでした。

そんな中で、大切なわが子に、どのように声をかけようか悩まれたり、心を痛めつつも見守ることしかできない苦しさがあったりと、葛藤されながら、懸命にお子様に寄り添われた三年間だったと思います。今日、こうして、立派に卒業を迎えたのは、ひとえに、保護者の皆様の限りない愛情の賜物だと思います。大切なお子様を本校に預けてくださり、保護者の皆様とともに大切な三年間に関わらせていただけたことを、本校職員一同、幸せに感じております。三年間、本当にありがとうございました。

さて、卒業生の皆さん。皆さんは、令和四年四月、真新しい制服に身を包んで、末野原中学校の門をくぐりました。あれから今日まで、深谷主任や担任の先生の指導のもと、様々な場面において成長の足跡を残してきました。

一年生。新しい仲間との出会い。すべてが新鮮で、夢中で過ごした、そんな一年ではなかったでしょうか。二年生の職場体験では、働くことの大変さを実感し、部活動では引退する先輩から託された立場の重さを、ひしひしと感じたことでしょう。

大雪の乗鞍での自然教室。立志の会では、お家の方からの手紙に、自分がどれだけ深い愛情を注がれて成長したか改めて思いを馳せたことでしょう。「生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと そのすべてにありがとう」乗鞍で皆さんのが歌った「いのちの歌」。昨日のことのように思い出します。

そして迎えた最高学年。

六月、修学旅行。見上げる国会議事堂、友と協力した班別活動、ディズニーランドや学級活動。最高の思い出になりました。七月、部活動。最後の大会。最後まで戦う姿、喜び、涙、心を一つに奏でた音。皆さんは後輩の良き手本であり、培った仲間との絆は一生の宝物になることでしょう。

九月、音楽フェスティバル。こんなにすごい「魂を揺さぶる」合唱ができる、それが「証学年」の証なのだと、二年半、培い育ててきたものが、まさに花開いたと感じた瞬間でした。皆さんの歌声は、末中の伝統としてこの先もずっと後輩に受け継がれていきます。

そして、三年生にとって最後の大きな行事、体育祭。先生たちと心熱く作り上げてきた伝統の末中ソーラン『真剣証舞』。素晴らしい演技はもちろんのこと、見つめる二年生の真剣なまなざし、一年生の圧倒されたような表情が目に焼き付いています。

真剣になるとはどういうことか。正しいとはどういうことか。皆さんは、最高学年の誇りをもって、いつも後輩たちにそれを示してくれました。

### 「証」

前を向きなよ 振り返っていちゃ うまく歩けない 遠ざかる君に手を振るのがやっとで  
声に出したら引き止めそうさ 心でつぶやく 僕は僕の夢へと 君は君の夢を

母校を巣立つ皆さん。「証学年」として刻んだ日々を大切に胸に抱きながら、これから、それぞれの場所で、世界でたった一つの、自分だけの『証～第二章』 その物語を書き続けてください。

皆さんは末野原中学校の自慢の卒業生です。これからの活躍を心から祈っています。

ご卒業おめでとうございます。

令和七年三月七日

末野原中学校長 平井千夏

